

- 歴史文書館へ行こう . . . . . P1~2
- 文化財課販売刊行物紹介 . . . . . P3
- WEBで文化財だよりを楽しもう! . . . . . P4
- コラム『四爪錨』江間正典 . . . . . P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和3年7月1日発行

## 歴史文書館へ行こう

1階に新たに展示室を開設! 2階では平常展を開催中!

展示期間: 展示中~7月30日(金)(土、日曜日、祭日は休館)

9時~17時(入館は16時30分まで)

場所: 磐田市竜洋支所内(磐田市岡729-1)

電話: 0538-66-9112 / FAX: 0538-66-9722

お待ちしております!

磐田市歴史文書館キャラクター

もんじろう  
文字朗



このたび、磐田市歴史文書館では1階に新たに展示室を開設しました。今月号の特集では、1階の展示室と2階で開催している平常展のみどころを紹介します。ぜひ、この夏も歴史文書館にお越しください。

### 1階

#### 懐かしの施設の記憶を 行政資料でたどる

1階展示室では、合併15周年を迎えた磐田市にこれまであった懐かしい施設について、行政資料(行政機関で作った冊子など)を中心にその記憶をたどります。なお、行政資料については、申し出があれば、その内容を閲覧することもできます。



1階展示室の様子

#### みどころ 勤労青少年ホームとサンプラザ磐田

勤労青少年ホームは、働く青少年が教養や知識を身に付け、体力作りなどをおこなう施設として今之浦を見下ろす地に、昭和44年~平成21年までありました。現在はワークピアが事業の一部を継承しています。広報誌「サンプラザ磐田」で当時をしのぶことができます(一部を展示)。



広報誌「サンプラザ磐田」の表紙

#### みどころ 国民宿舎遠州ふくで荘

ふくで荘は遠州灘を見渡す位置に建ち、昭和48年~平成18年まで国民宿舎として愛されてきました。「メロン風呂」は宿泊客に人気でした。遠州のメロンが有名になったのも、このふくで荘が一翼を担っていたのかもしれない。展示室では、ふくで荘の「法被」や「メロンソープ」などを展示しています。



ふくで荘のパンフレットとメロンソープ

このほか、磐田市の合併に至る経緯などを「合併協議会だより」からたどることができます。



2階展示室の様子

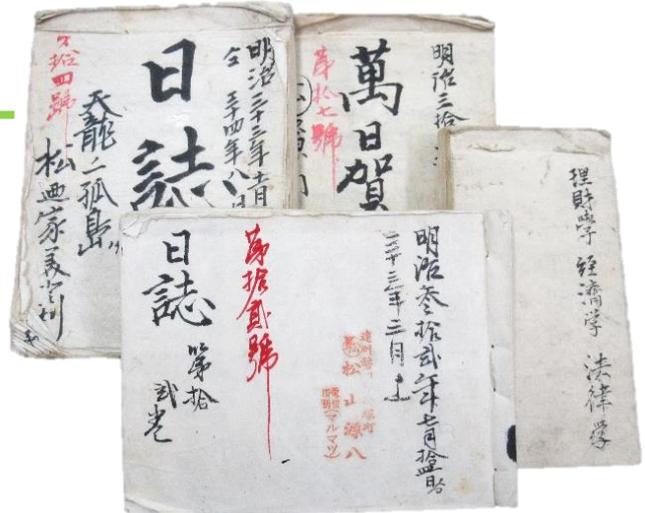
## 2階

## 新規収蔵資料と光明電気鉄道 こうみょう

2階展示室では、新規収蔵資料の紹介や過去に開催した企画展から好評だった「光明電気鉄道」の展示をしています。

### みどころ 新規収蔵資料 成瀬家文書と松山家文書

新規収蔵資料の紹介では、令和2年度に寄贈された資料を紹介しています。中世・近世を通して見付宿の有力者であった成瀬家から新たに明治時代の資料が寄贈され、その中から明治20年の「売薬行商許可之証」などを展示しています。また、掛塚の住民であった松山源八の「日誌」からは災害が発生した明治32年の祭りについて紹介しています。



松山源八日誌

### みどころ 幻の鉄道の歴史を伝える光明電気鉄道のマンホールの蓋・マーク

過去の企画展からは、昨年テレビでも取り上げられ話題となった「光明電気鉄道」について展示しています。

「光明電気鉄道」は、昭和の初め、天竜川左岸の平野を走り抜けました。10年に満たない短命でしたが、南北の村や町を結ぶ夢の実現でした。

平成27年に磐田駅前北口広場で使用されていたマンホール蓋や当館所蔵の光明電気鉄道沿線案内などの資料から幻と呼ばれる「光明電気鉄道」の姿をわかりやすく紹介しています。

マンホール蓋の中央にあるマークはどのようなデザインでしょうか。展示していますので会場でご覧ください。それにしても、このマンホールが約90年間設置されてきたとは驚きです。



光明電気鉄道のマンホールの蓋



光明電気鉄道沿線案内／昭和3年(1928)発行  
2/4 いわた文化財だより 第196号

## 文化財課販売刊行物紹介

磐田の大念仏の映像が収録された DVD 付き！

# 磐田の大念仏

## 豊岡の遠州大念仏・加茂大念仏 調査報告

初盆の家の庭に鳴り響く太鼓と笛の音、江戸時代から続く盆行事『遠州大念仏』。現在もおこなわれている豊岡の遠州大念仏と加茂大念仏を中心に、各組の特徴をわかりやすく解説した調査報告書を刊行しました。

各組の大念仏を収録した DVD も付いていますので、映像でもお楽しみいただけます。ぜひ、ご覧ください。

- 価格 2,000 円 (税込み)  
(A4 版／本文 128 ページ・  
巻頭カラー12ページ／DVD  
付き)

- 販売場所

< 磐田市文化財課 (埋蔵文化財センター) >

磐田市見付 3678-1 TEL:0538-32-9699 8:30~17:00 休館:土・日・祝



## 大念仏とは

大念仏は毎年8月のお盆、初盆の家々を回り、亡き人の霊を慰めるために、笛や太鼓などの音に合わせ念仏を唱えながら踊る民俗行事で、遠州地方では「遠州大念仏」とも呼ばれています。



加茂大念仏



豊岡の遠州大念仏 (上神増組)

磐田市内では現在、豊田地区の加茂東<sup>おいだら だいらくじ ごうだいじま</sup>と豊岡地区の大平、大楽地、合代島、<sup>いっかんじ かみかんぞ みつえ まつのきじま</sup>菟貫地、上神増、三家、松之木嶋の合わせて8組でおこなわれており、「加茂大念仏」「豊岡の遠州大念仏」として市の無形民俗文化財に指定されています。

各組の特徴など詳しくは、「磐田の大念仏」をぜひご覧ください！

また、各種販売本については市ホームページでご紹介しています。

磐田市ホームページで公開中

# WEBで文化財だよりを楽しもう！

パソコンやタブレット、スマートフォンなどから閲覧できます！



ご自宅でいわた文化財だよりを楽しんでみませんか。市ホームページでは、最新号のほかバックナンバーも公開しています。バックナンバーの閲覧方法と、これまでに発行した文化財だよりの中から今月のお勧めをご紹介します！

## ● 閲覧方法 ●

磐田市ホームページトップページ内のページ番号検索に1007901を入力後、いわた文化財だよりのバックナンバーの一覧から閲覧したい号数をダブルクリックしてください。

## ● 今月のお勧め ●

平成25年度から3ケ年かけておこなった、県指定文化財の府八幡宮楼門。その修復工事を追った第112号と第128号をお勧めします。屋根の構造や、神社などの建造物に使われる屋根葺工法「茅葺」<sup>ぶき</sup>「かやぶき」などを紹介しています。ぜひ、お読みください。



## 職員リレー コラム

よつめいかり  
四爪錨

江間 正典

竜洋海洋公園の北にある工事現場で、高さ1.6m、幅1mの大きな錨が、土に埋まった状態で見つかりました。この錨は「四爪錨」と呼ばれ、江戸時代から明治時代にかけて活躍した「廻船」の錨として使用されたものです。長く地中にあったため、錆がひどく、上部の綱を結ぶ部分は折れて無くなっていました。

掛塚地区は室町時代から港町として栄えました。江戸時代には「遠州の小江戸」と称されるほど賑わい、明治の初めに最盛期を迎えます。錨があった河口付近に掛塚湊があり沢山の「廻船」が停泊していたそうです。しかし、明治22年に東海道線が開通すると、物資の運搬は貨車輸送が主流となり、ついに明治44年に掛塚湊は廃港となります。

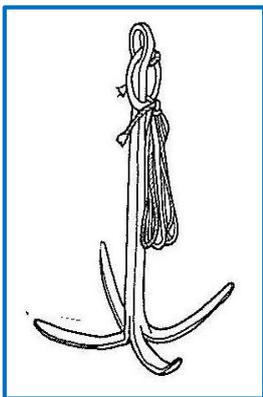
大きな「四爪錨」は掛塚湊の繁栄を今に伝える証です。竜洋支所東側の竜洋郷土資料館で、掛塚湊の歴史や当時の船で使われていた道具などを展示していますので、興味のある方はぜひご来館ください。

### ◆ 竜洋郷土資料館 ◆

磐田市岡 405-47 入館無料

開館:火曜～日曜 午前9時～午後4時30分

駐車場:磐田市竜洋支所駐車場をご利用ください



四爪錨イメージ



四爪錨

**編集後記** ぶくで荘のメロンソープが可愛い！石鯛の入っていた箱も、メロン箱デザインなのがまた可愛い！実物は歴史文書館で展示中ですので、ぜひご覧ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)

